

## 学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成22年7月20日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

### 発 表 事 項

1. 平成23年度国立大学法人運営費交付金の確保について(緊急アピール)
2. 山形大学オープンキャンパス2010
3. 平成22年度 山形大学・元気プロジェクト決定
4. 青色LED 中村修二 教授 × 有機EL 城戸淳二 教授
5. KENDO SEMINAR IN YAMAGATA
6. パキスタン・フンザ地方 地すべりダム決壊調査に参加
7. アフィニス・ミニコンサート 共演者決定

### お 知 ら せ

1. 工学部国際連携サマープログラム
2. 農学部公開講座「食と健康に貢献するバイオ技術」

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成22年8月3日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成22年7月20日  
山形大学

## 「好奇心の芽を伸ばそう」 山形大学オープンキャンパス2010

山形大学を志望している受験生や、高校1・2年生、高校教員、保護者等の皆様を対象に「山形大学オープンキャンパス2010」を開催します。

山形大学のことをより詳しく知っていただくため、各学部(学科)概要説明や、模擬授業、体験学習、相談コーナー等を行います。

来場者には、山形大学オリジナルグッズを差し上げます。

開催日：

- 飯田キャンパス（医学部）：平成22年7月30日(金)
- 米沢、鶴岡キャンパス（工学部、農学部）：平成22年8月6日(金)
- 小白川キャンパス（人文学部、地域教育文化学部、理学部）  
：平成22年8月8日(日)

※各キャンパス”最寄り駅”(山形駅、米沢駅、鶴岡駅)から無料シャトルバスを運行します。

現在、山形大学ホームページ及び携帯サイトにおいて、参加申込みを受付中。

(原則として予約制ですが、当日の参加も大歓迎。)

※小白川キャンパス(8/8開催)に自家用車でこられる場合は、構内に駐車スペースがありませんので「山形県庁駐車場」をご利用下さい。山形県庁から小白川キャンパスまでは無料シャトルバスを運行いたします。

プログラム：

- ・各学部(学科)概要説明
- ・施設、研究室見学
- ・模擬授業
- ・体験学習
- ・なんでも相談コーナー
- ・在学生相談コーナー
- ・各種資料配付 等

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

(お問い合わせ)

エンrollment・マネジメント室

(TEL) 023-628-4062、4063

## 7月30日(金)

医学部-飯田キャンパス(山形市内)

医学科 9:30~12:30(受付は9:00から)

医学科は体験授業(1日医学生)も  
開講します。13:30~15:40

看護学科 14:00~16:30(受付は13:20から)

※看護学科棟の施設見学・演習体験は13:00  
から参加可能です。

## 8月6日(金)

工学部-米沢キャンパス(米沢市内)

9:30~16:30(受付は9:00から)

農学部-鶴岡キャンパス(鶴岡市内)

10:40~16:00(受付は9:30から)

## 8月8日(日)

小白川キャンパス(山形市内)

(受付は9:00から)

人文学部 9:20~16:00

地域教育文化学部 9:30~16:30

理学部 9:30~16:00

農学部の相談ブースも設置します。  
(9:30~16:30)

好奇心の芽を伸ばそう



# YAMAGATA UNIV. OPEN CAMPUS'10

## 山形大学オープンキャンパス2010

◎各キャンパス“最寄の駅”から無料シャトルバスを運行いたしますのでご利用ください。(小白川キャンパス-山形駅、飯田キャンパス-山形駅、米沢キャンパス-米沢駅、鶴岡キャンパス-鶴岡駅)  
◎小白川キャンパス(8/8開催)に自家用車でこられる場合は、構内に駐車スペースがありませんので「山形県庁駐車場」をご利用ください。山形県庁から小白川キャンパスまでは無料シャトルバスを運行いたします。

詳しくは山形大学ホームページをご覧ください。 <http://www.yamagata-u.ac.jp/index-j.html>

事前申込が必要です。山形大学ホームページか携帯サイトから申してください。(原則として予約制ですが、当日の参加も歓迎します。)

◎携帯サイトからの申込はコチラ➔



平成22年7月20日  
山形大学

## 平成22年度 山形大学・元気プロジェクト決定

学生の自主的な活動を応援し、学生の力によって山形を元気にする  
「山形大学・元気プロジェクト」を決定しました。

今年度は、応募総数19件の中から山形の元気活性化への貢献度や計画のアイデア性を中心に書類審査を行い、8件が7月2日の面接審査に残りました。

面接審査では、応募学生によるプレゼンテーションにより、メンバーの意欲とプロジェクトの実現可能性を審査しました。

その結果、次の6件を「山形を元気にするプロジェクト」として決定しました。

① **あなたとつくる！YUプロモーションビデオ**

山形大学を紹介するプロモーションビデオを作成し、上映会を開催します。

② **科学で山形を元気にし隊！**

地域の幼稚園や小学校などで、理科の実験やダンスを行い、理科や科学に興味を持ってもらいます。

③ **集まれ！山形家族 ～愛を育むコミュニティづくり～**

大学周辺の方々とモザイクアートを共同で作成し八峰祭に展示することで、地域との交流を活性化します。

④ **地域高齢者宅の除雪ボランティア活動**

米沢市南部地区民生委員と連携して、高齢者宅の除雪を行います。

⑤ **もがみ地域活性化プロジェクト 第二期**

最上地域の中学生対象の勉強会や行事等に学生が参加し、地域活性化を図ります。

⑥ **ツリーハウスプロジェクト**

農学部演習林にツリーハウスを設置し地域との交流の場とすると共に、農学部の理解を深めていただきます。

(お問い合わせ)

山形大学小白川事務部学生支援ユニット(学生企画担当)

電話：0238(26)4133

## 平成22年度「山形・元気プロジェクト」採択一覧

番号	プロジェクト名	団体名	代表者		活動内容	備考
			所属	氏名		
1	あなたとつくる！YUプロモーションビデオ	イメージソングプロデュース「Voice」	地域教育文化学部 地域教育学科 3年	奥山 遥香	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山形大学内の様々な活動を紹介し、山形大学をより身近に感じられるようにする</li> </ul> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロモーションビデオを完成させ、成果発表会で上映</li> </ul> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山形大学を紹介するプロモーションビデオを作成し、上映会を開催する(その後は、ホームページ・YOUTUBE等を利用し、学外に発信予定)</li> </ul>	
2	科学で山形を元気にし隊！	SCITAセンターの学生スタッフ等	理学部 物質生命化学科 2年	小栗 拓馬	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子供たちなど一般の方に身の回りの理科や科学現象についての興味及び正しい知識を持ってもらう</li> <li>参加する学生の、コミュニケーションスキル・サイエンスコミュニケーションスキル獲得</li> </ul> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活動・イベント終了後にアンケートを実施し、回答を次のイベントに反映させる</li> <li>感想シート(自己分析)を取り入れ、自分が活動を通して成長できたかを考える</li> <li>意見交換会を実施し、活動の振り返り及び今後の抱負などを考える</li> </ul> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の幼稚園や小学校などで、子供達と理科の実験やダンスを行い、理科や科学に興味を持ってもらう</li> <li>ダンスは、「レッツゴー実験カー」という曲に振り付け(東北文教大学深瀬教授による)したものをを用いる</li> <li>SCITAセンターなどで、生き物の展示や実験などを一般の方向けに行う</li> <li>各キャンパスの大学祭においても同等の活動を行う</li> </ul>	
3	集まれ！山形家族 ～愛を育むコミュニティーづくり～	基盤教育科目 「なせば成る！～大学生活 始め～」 受講学生(お祭り部隊)	医学部医学科1年	横瀬 充史	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種活動により、大学周辺の地域住民と学生・大学の交流を、身近な、目に見える形として作り出すことにより、「地域及び国際社会との連携」という山形大学の基本的理念に則った大学の諸活動が、学生や地域住民に実感されていないという現状を改善し、地域・学生・大学が1つの家族のような繋がりを持つことを目指す</li> </ul> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モザイクアート</li> <li>参加人数300人の達成及びモザイクアートの完成(5m×10m)</li> <li>八峰祭への出店及びスタンプラリー「目指せ！山形マイスター」</li> <li>周辺地域の商店からの協力5店舗</li> <li>小学校・中学校の楽団の参加各1団体</li> <li>モザイクアートの展示キャンパス内</li> <li>スタンプラリーへの参加400人</li> <li>山形大学マイスター認定400人</li> <li>アンケート「楽しかった」「交流ができた」の回答全体2/3以上</li> </ul> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モザイクアートを大学周辺の地域住民と共同で制作及び八峰祭での展示。</li> <li>八峰祭における、地域住民との交流活性化。</li> </ul>	

番号	プロジェクト名	団体名	代表者		活動内容	備考
			所属	氏名		
4	地域高齢者宅の除雪ボランティア活動	各研究室	理工学研究科 電気電子工学専攻 1年	麦島 一輝	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豪雪地域に住む高齢者の、冬季の不安を解消するため、米沢市南部の高齢者宅の除雪を行うと共に、冬季の体力維持・体力増進を図る</li> </ul> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5班（25軒）/日の除雪を行い、活動日5日で合計125軒の除雪を行う</li> </ul> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米沢市南部地区民生委員と連携して、高齢者宅での除雪を行う</li> </ul>	
5	もがみ地域活性化プロジェクト 第二期	もがみ協力隊	工学部 物質化学工学科 3年	萩本 範幸	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学による、最上地域での各種活動に参加することで、地域活性化に一役買うだけでなく、参加した学生の経験や先人からの知恵を今後の学生生活などに役立てる</li> </ul> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を通して、学生がどの程度地域活性化に貢献できたか、参加した学生がその後の学生生活にどのようなことを活かせるかなどを文書で確認する</li> <li>・地域からの活動依頼に対して、参加率100%を目指す</li> </ul> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最上地域の中学生を対象とした学習会、各市町村で行われている行事等に、学生が参加し、地域活性化を図る</li> </ul>	
6	ツリーハウスプロジェクト	森の民 実行部隊 チームこもれび	農学部 生物環境学科 3年	大浦 望	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演習林の一般開放</li> <li>・団体内での交流活性化</li> <li>・地域との結びつき強化</li> </ul> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ツリーハウスの完成</li> <li>・森の学校等の利用による、演習林の周知（森の幼稚園との連携）</li> <li>・チーム一丸となったの実施</li> </ul> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農学部演習林内へのツリーハウス設置し、演習林を地域との交流の場とすると共に、農学部の宣伝を行う</li> </ul>	

# プレス発表資料

平成22年7月20日  
山形大学

青色LED 中村修二 教授 × 有機EL 城戸淳二 教授

カリフォルニア大学サンタバーバラ校の 中村修二教授 が特別講演

日 時：平成22年9月6日（月）13：30～16：00

場 所：山形県立米沢興譲館高等学校 記念講堂（米沢市大字笹野）

プログラム：

13：30～ あいさつ 山形大学長 結城章夫

13：35～ 基調講演

「チャレンジ精神 ～技術者魂 VS ベンチャーマインド～」

14：40～ パネルディスカッション

「日本を地方から元気にする」

パネラー

中村 修二 カリフォルニア大学サンタバーバラ校 教授

大場 好弘 山形大学工学部長

城戸 淳二 山形大学大学院理工学研究科 教授

司会／柴田 孝 山形大学国際事業化研究センター副センター長

15：40～ 質疑応答

世界的に著名な、青色LEDの中村修二教授と有機ELの城戸淳二教授が、山形で初めてコラボレーションします。

日本の未来を担う高校生を中心にして、広く一般の方々にも公開いたします。

光を研究する世界の第一人者が語る明るい講演とディスカッションで元気になってみませんか。

(お問い合わせ)

山形大学工学部 研究支援室

電話：0238(26)3004

カリフォルニア大学サンタバーバラ校

# 中村 修二教授 特別講演会

## 「チャレンジ精神

## ～技術者魂 vs ベンチャーマインド～」



中村 修二氏

日時 平成22年 9月6日(月)  
13:30～16:00

場所 山形県立  
米沢興譲館高等学校 記念講堂  
山形県米沢市大字笹野1101番地

参加費 無料

共同開催／国立大学法人山形大学・山形県立米沢興譲館高校

後援／米沢市

### プログラム

13:30～13:35 開会の挨拶

山形大学 学長 結城 章夫

13:35～14:25 基調講演

「チャレンジ精神  
～技術者魂 vs ベンチャーマインド～」

14:25～14:40 休憩

14:40～15:40 パネルディスカッション

「日本を地方から元気にする」

中村 修二氏 (カリフォルニア大学サンタバーバラ校 教授)

城戸 淳二氏 (山形大学 卓越研究教授)

大場 好弘氏 (山形大学 工学部長)

司会／柴田 孝氏 (山形大学国際事業化研究センター 副センター長)

15:40～16:00 質疑応答



城戸 淳二氏



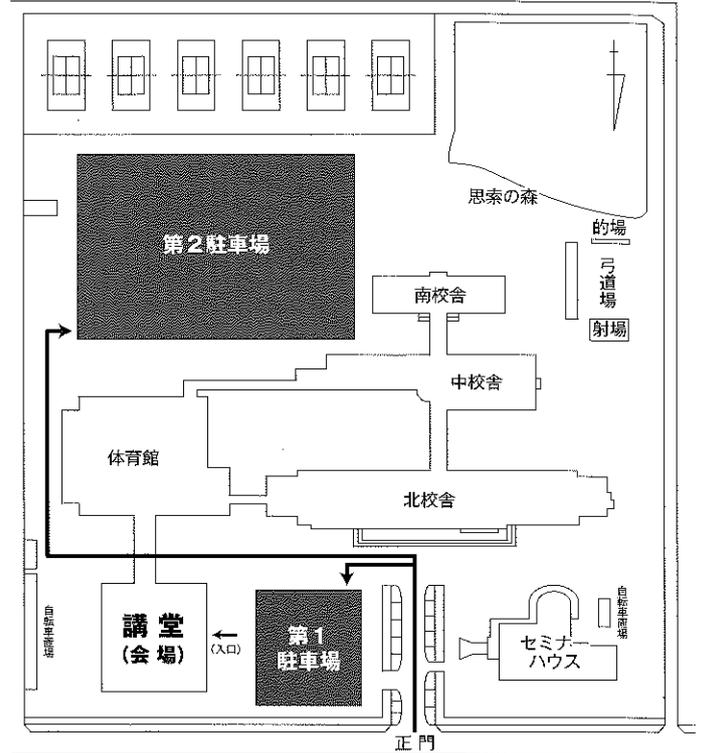
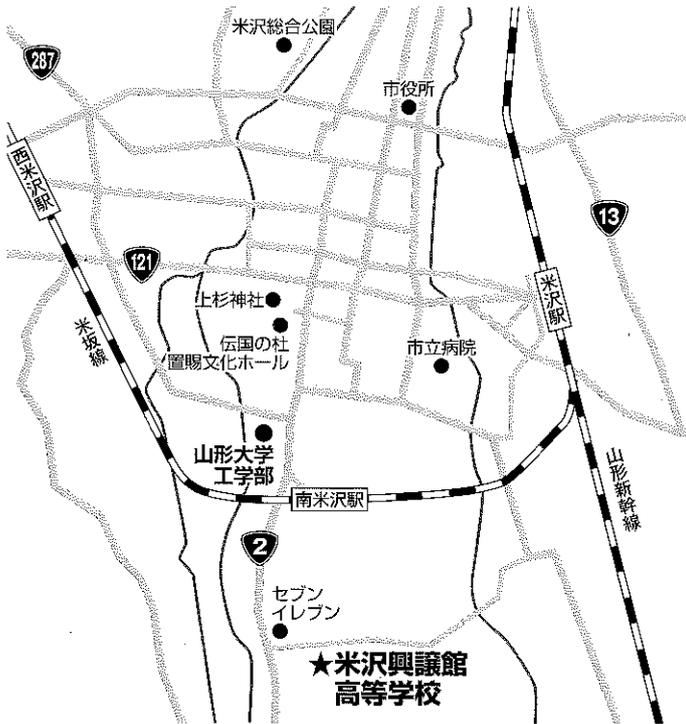
大場 好弘氏

お申し込み方法は裏面をご覧ください (事前のお申し込みが必要です)

# 会場

# 山形県立米沢興譲館高等学校 記念講堂

## 【駐車場について】



### 【アクセス】

- JR米沢駅(奥羽本線)より  
自動車で10分 自転車で20分 徒歩50分
- JR南米沢駅(米坂線)より  
自動車で7分 自転車で10分 徒歩20分

- 車での来場を希望する方は事前申し込みの上、上記の駐車場をご利用願います。
- 駐車場が大変混雑する恐れがあります。なるべく公共機関をご利用願います。

## 申込方法

【パソコンから】

<http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/info/form100906/form-1.php>

【携帯から】

<http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/m/m-form100906/form-1.php>

上記ホームページからお申し込みください。FAX、E-mailでのお申し込みも受け付けております。

※メールでお申し込みの際には、件名に「中村修二教授講演会申し込み」と記載願います。

※参加希望の方は、上記の方法で必ず事前申し込み願います。

※受付票が入場券となりますので、当日は必ず受付票を持参願います。

こちらからの申し込みも可能です



## 参加申込書

カリフォルニア大学サンタバーバラ校  
**中村 修二教授 特別講演会**

車  
の  
こ  
ん  
ご

車で来る ・ 車で来ない  
(どちらかに○をお付け下さい。)

所属名

フリガナ

部署  
役職

TEL  
FAX

氏名

所在地 〒 -

E-mail

— 個人情報の取り扱いについて — ご登録いただいた情報は、参加者の確認にのみ利用させていただきます。

申込締切：平成22年8月31日(火)

お問い合わせ先：山形大学工学部 研究支援室

TEL 0238-26-3004 FAX 0238-26-3401 E-mail kouenkai@yz.yamagata-u.ac.jp

## プレス発表資料

平成22年7月20日  
山形大学

### KENDO SEMINAR IN YAMAGATA

フィンランドの剣道愛好者が西川町で剣道を通して交流を深めます。

日時：平成22年7月23日（金）14：30～27日（火）13：00 4泊5日

場所：西川町交流センター「あいべ」、西川町民体育館（西川町間沢）

旧岩根沢中学校（西川町岩根沢）

参加者：フィンランド剣道連盟所属剣士 10名

西川町剣道連盟 10名程度

山形大学遊芸部 10名程度

地域教育文化学部の教員と学生が中心となり、西川町と提携し、伝統的運動文化である剣道を通して、フィンランドの剣道愛好者と国際交流を行います。

日本人指導者から剣道の技術指導をしてもらう機会に恵まれないフィンランドの剣道愛好者で、特に指導的立場にいる方を対象にして、剣道の技術指導・講義を行います。

その際、剣道の技術指導のみならず、西川町の小学生との交流やそば打ち、酒造り、月山トレッキング、ワイン工場見学、温泉などの自然や文化に接しながら、地域の人々とさまざまな交流を行い、互いの親睦を深めます。

（お問い合わせ）

山形大学地域教育文化学部文化創造学科教授 竹田隆一

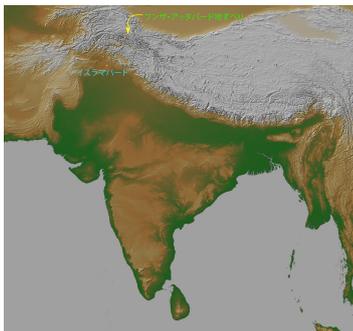
電話：0238(26)4819

平成 22 年 7 月 20 日  
山 形 大 学

## パキスタン・フンザ地方 地すべりダム決壊調査に参加

地域教育文化学部 八木浩司教授がパキスタン地すべりダム決壊調査の結果を日本地すべり学会に緊急報告しました。

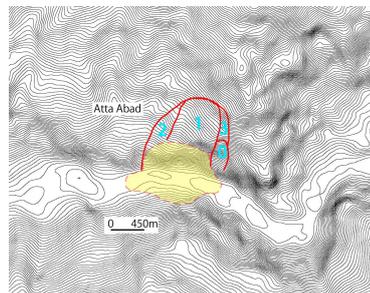
パキスタン、ギルギット・バルチスタン地方を流れるフンザ川右岸のアッタバードにおいて



て本年 1 月初旬に大規模な地すべりが発生しました。その規模は、幅 1000m、比高 950m、斜面長 1500m で、約 4000 万 m<sup>3</sup> の移動土塊が、フンザ川河谷をせき止めパキスタンと中国を結ぶ唯一のルートであるカラコルムハイウェイを封鎖しました。

当該地域は氷河融雪水が半乾燥の谷底平野を潤すことで成立するオアシスの景観をして、桃源郷“Shangri-La”と呼ばしめる風光明媚な地域で、日本を始め多くの観光客を引きつけてきました。

しかし今回の地すべり災害は、直接の地すべりによる被害地以外に、フンザ川のせき止めによる上流集落の水没や交通路の遮断が地元の基幹産業である観光業に大きな打撃を与えています。



地域教育文化学部の八木教授は、パキスタンの人道援助 NGO / FOCUS からの要請を受け、6 月 22 日～28 日の日程で現地へ赴き、地すべりダムの決壊の可能性や地すべり湖水水位低下のための技術的問題点、さらに下流側で発生が懸念されているカナ・アバードにおける地すべりの監視対策について技術

的助言をおこないました。

なお、この調査結果は、7 月 7～8 日に開催された日本地すべり学会 2010 年度学術大会に於いて緊急報告として論文発表を行いました。



(お問い合わせ)

山形大学地域教育文化学部教授 八木浩司

電話：023(628)4393

平成22年6月22日  
山形大学

## アフィニス・ミニコンサート 共演者決定

アフィニス夏の音楽祭からの贈り物  
ミニコンサートに参加する地元の音楽愛好家が決まりました。

☆2010年8月18日（水）19：00～

♪かみのやま 湯かったコンサート♪（上山市体育文化センター）

- ・女声合唱団上山こまくさ、上山混声合唱団フロイデ、O y a z i 合唱団  
「ゆかたの似合うまち・かみのやま温泉」ならではの演奏会です。

♪夏の夜の文翔館中庭コンサート♪（文翔館中庭）

- ・山形交響楽団金管セクション  
ホルン・金管アンサンブル、本格的で親しみのあるプログラムをお贈りします。

☆2010年8月19日（木）19：00～

♪高瀬べに花コンサート♪（高瀬ふれあい交流センター）

- ・休石老酒盛り保存会、山形市立高楯中学校吹奏楽部  
地元中学校吹奏楽部との共演や歓迎演奏として高瀬の伝統芸能を披露します。

♪蔵王やすらぎの里なごみコンサート♪（軽費老人ホーム蔵王安らぎの里）

- ・山形大学大学院生  
非公開の関係者のみの演奏会になりますが、蔵王の豊かな自然の中で、普段は触れることの少ない生の演奏を届けます。

☆今後の活動予定

- ・高瀬べに花ワーキンググループ会議  
日時：7月26日（月）16：00～ 高瀬紅花ふれあいセンター
- ・合同ワーキンググループ会議  
日時：7月30日（金）13：30～ 山形県新築西通り会館3F会議室

（お問い合わせ）

地域教育文化学部文化創造学科 教授 藤野祐一  
（TEL）023-628-4330

# プレス通知資料（概要）

平成22年7月20日  
山形大学

## 1. 工学部国際連携サマープログラム

（概要） 工学部では、学部間協定校との交流の活発化や連携強化を促進するために、国際連携サマープログラムを実施しています。

このプログラムを通じて、日本文化の理解、日本人との交流、さらには在校生に対する国際感覚・国際理解の醸成にも寄与します。

期 間:平成22年8月2日(月)～12日(木)

場 所:工学部及び米沢市内など

対象者:中国及びマレーシアの学部2・3年生 計9名

(中国 河南理工大学・東北電力大学・吉林化工学院の交流協定校から7名  
マレーシア マラ工科大学から2名)

プログラム:日本語授業や専門授業、キャンパスツアーや市内見学・ホームステイ・学生交流研修旅行など幅広いプログラムで国際連携を深めます。

問い合わせ:山形大学工学部 学生サポートチーム(学生・就職支援担当)

(TEL)0238-26-3017

## 2. 農学部公開講座「食と健康に貢献するバイオ技術」

（概要） 農学部教員による学内講演と、関連企業への訪問をペアで実施することにより、「食と健康」を支えるバイオ技術への理解を深めていただくために開催します。

場 所:講義室(101or102)及び見学会場

対象者:中学生以上 30名

### ・第1回 学内講演

8月28日(土) 13:00～

1)「菌類の不思議」

2)「微生物の持つ無限の可能性ーカビとくすりー」

### ・第2回 会社見学会(初孫)

9月 4日(土) 13:00出発

### ・第3回 会社見学会(月山ワイン)

9月11日(土) 13:00出発

・第4回 学内講演

9月18日(土) 13:00～

- 1)「ポリフェノールは長寿のもと？」
- 2)「活性酸素は万病のもと？」

・第5回 学内講演及び農学部内見学

9月25日(土)

- 1)「ジテルペンは薬になるのか？」
- 2) 農学部内見学:  
農学部遺伝子実験施設、3号館精密機器室、核磁気共鳴装置 (NMR)  
液体クロマトグラフィー・タンデム型質量分析計 (LC-MS/MS)
- 3) 修了式

問い合わせ:山形大学農学部 企画広報室

(TEL)0235-28-2911

3. これまでの学長定例会見でお知らせをしたもので開催がせまっているイベント  
当日の取材をよろしく願いいたします。

○国際事業化研究センター「もがみイブニングサロン with 最上夜学」

日 時:平成22年7月23日(金)18:00～20:00

会 場:新庄商工会議所2階第一会議室(新庄市住吉町)

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:山形大学国際事業化研究センター

(TEL)023-628-3030

○附属小学校「親子わくわくワークショップ」

日 時:平成22年7月24日(土) 10:00～12:00

場 所:山形大学附属小学校(山形市松波)

対 象:園児、児童、生徒とその保護者 親子50組

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:山形大学附属小学校

(TEL)023-641-4443

## ○理学部「小さな科学者・体験学習会」

### 【山形県産業科学館「発明工房」光の不思議】

日 時:平成22年7月24日(土)13:30～15:30

会 場:山形県産業科学館4階発明工房(山形駅西口 霞城セントラルビル内)

対 象:小学4年～中学生およびその保護者 20名

### 【望遠鏡を作って観る】

日 時:平成22年7月24日(土)18:30～20:30

会 場:山形大学SCITAセンター(山形市・小白川キャンパス)

対 象:小学4年～中学生およびその保護者 20名

### 【親子で体験！バイオロジー・8】

～「知ってるようで知らない」身近な生き物の観察・撮影会～

日 時:平成22年8月1日(土)13:00～16:00

会 場:山形大学SCITAセンター(山形市・小白川キャンパス)

対 象:小学5年～中学生およびその保護者 20名

### 【わくわく化学実験ランド】

日 時:平成22年8月3日(火)14:00～16:00

会 場:山形大学SCITAセンター(山形市・小白川キャンパス)

対 象:小学4年生以上とその保護者 親子10組

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:山形大学SCITAセンター

(TEL)023-628-4506

## ○附属特別支援学校「たのしくあそぼう～からだところを育てるあそび～」

日 時:平成22年7月28日(水) 10:00～11:30

場 所:山形大学附属特別支援学校(山形市飯田)

対 象:軽度の知的障がい及び発達の遅れを感じる幼児と保護者・保育者  
10組20人

問い合わせ:山形大学附属特別支援学校

(TEL)023-631-0918

## ○工学部「科学フェスティバル in よねざわ 2010」

日 時:平成22年7月31日(土)～8月1日(日) 10:00～16:00

場 所:山形大学工学部4号館教室(米沢市・工学部キャンパス)

対 象:小学生・中学生

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:科学フェスティバル実行委員会総務担当(山形大学工学部内)

(TEL)0238-26-3272・3005

## ○理学部体験型講座「サイエンス・サマースクール in やまがた」

☆コース1「ナノテクノロジーを体験してみよう」

日 時:平成22年8月3日(火) 10:00～16:00

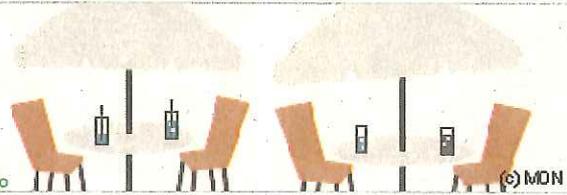
場 所:山形大学理学部(山形市・小白川キャンパス)

問い合わせ:山形大学理学部 事務ユニット

(TEL)023-628-4505

# 第8回もがみイブニングサロン with 第42回最上夜学

「もがみイブニングサロン」は、  
毎回50名を超える参加者による  
最上地域の産・学・官・金融の連携と  
首都圏や地域内外、異業種間の企業交流  
そして技術アピール・情報交換の場である。



日時：平成22年7月23日（金）18:00～20:00

会場：新庄商工会議所2F第一会議室（新庄市住吉町3-8 TEL0233-22-6855）

参加費：2,000円

## その1 先進事例発表

「テーマ：最上地域のがんばる企業」

### 【コーディネーター】

中小企業応援センター 山形大学「学金連携システムネットワーク」コーディネーター 高橋 政幸 氏

大手包装容器製造会社を退社し山形県企業振興公社 最上地域中企業支援センター コーディネーター、山形大学  
地域共同研究センター産学官連携コーディネーターをへて現職へ。

### 【最上夜学：話題提供】

山形大学国際事業化研究センター 客員教授 安孫子 雅敏 氏

中小企業の経営者の世代交代期を迎える中、経営者の高齢化や後継者不足など、中小企業の事業継承を取り巻く状況は  
厳しくなっている。親族内継承、他社への売却、後継者不足による廃業等、様々な課題のもと企業の将来を見据える準備  
を進めることが重要であり本講演では事業承継の課題や円滑に事業継承を図る上で重要なポイントを紹介していただく。

### 【事例発表者】

株式会社山形東亜DKK 開発設計部 次長 水口 人史 氏

<会社概要>（山形県新庄市大字福田字福田山 711-109 TEL0233-23-5011）

平成2年新庄中核工業団地に会社設立。「誠実・創造・挑戦」の会社理念に基づき日々創造し続ける技術集団を目指し、  
常に挑戦者である初心を忘れず高い技術力を維持するため努力している。山形大学との連携で開発された商品は業界のタ  
ブーを打ち破るメーカー直販をインターネット販売で実現し、高品質・低価格の製品をお客様に提供している。

株式会社メタルプロダクツ 代表取締役社長 渡邊 進 氏

<会社概要>（山形県最上郡真室川町平岡 432 TEL0233-25-8888）

「優れた製品を絶えず提供し、常にお客様のニーズに応えられる会社でありたい」をモットーに徹底したコスト戦略、  
品質管理体制を構築しより付加価値の高い経営を目指している。社名には「新しい時代にふさわしい鉄骨パーツ会社を創  
造する」と会社移転に当たってのビジョンにより、現在非常に厳しい環境に適應する「柔軟」をイメージし、「プロダク  
ツ（製品）」には新しい鉄骨加工会社という視点を込めた。

## その2 交流会（ビジネスマッチング）

事例発表者及び参加者間の交流・情報交換の場。

当日は立食形式により軽食とドリンク（アルコール、ソフトドリンク）等を用意しております。

申込・問合せ先・・・新庄商工会議所 TEL 22-6855

最上総合支庁産業経済企画課 TEL 29-1309

※裏面の申込み用紙に必要事項をご記入の上お申込みください →申込締め切り7月16日（金）

主催：山形大学「学金連携システムネットワーク」新庄商工会議所工業部会 山形県工業会最上支部  
最上地区雇用対策協議会 山形大学国際事業化研究センター最上サテライト 山形県最上総合支庁

「親子で築こう豊かな心・広がる心 (IV)」

～子どもの成長とともに～

親子わくわくワークショップ

附属小学校の教員が、専門性や個性を発揮しながら、ものづくりや実験、体験の楽しさを味わえるワークショップを開催します。いくつかのコーナーをつくり、いろいろ体験していただきます。

ー開催ワークショップー

「光のマジック」(図画工作系)

「ゴムを使ったおもちゃづくり」(理科系)

日 時 : 平成22年7月24日(土) 10時~12時

会 場 : 山形大学附属小学校 体育館・理科室・教育実習室等  
〒990-0023 山形市松波2-7-2

講 師 : 山形大学附属小学校 教員

受講料 : 親子1組で500円(当日ご持参ください)

持ち物 : ペットボトル2, 3本(容量は問いません), 筆記用具

募集対象 : 園児・児童・生徒とその保護者  
教員(幼稚園・保育園・小学校・中学校・特別支援学校)

募集人員 : 親子50組(園児, 小学生は保護者同伴) <先着順>  
定員を大きく上回った場合は, FAXやメール等でお断りの連絡をさせていただきます。連絡がない場合は, 参加可能と判断してください。

申込期限 : 7月21日(水)まで

申込方法 : 裏面に必要事項をご記入の上, FAXいただくか, または, メールで(minori@fusho.yamagata-u.ac.jp)お申し込みください。

申込先/問い合わせ先  
山形大学附属小学校  
〒990-0023 山形市松波2-7-2  
TEL 023-641-4443  
FAX 023-641-8594  
e-mail minori@fusho.yamagata-u.ac.jp

# 参加申込書<FAX送信票>

FAX 023-641-8594 <附属小学校>

## 山形大学公開講座（附属学校） 講座名：「親子わくわくワークショップ」

### 【参加者氏名】

- 1 [ ] (男・女) ( ) 歳
- 2 [ ] (男・女) ( ) 歳
- 3 [ ] (男・女) ( ) 歳

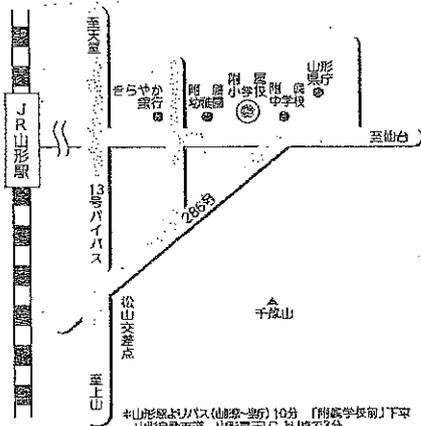
### 【住所】 〒

[ ]

【電話】 [ ]

【FAX】 [ ]

### 【会場案内】



◇山形駅前から県庁行きバス  
で附属学校前下車  
(所要時間約10分)

◇自家用車でお越しの際は、  
幼稚園西側の駐車場にとめて  
ください。

# 小さな科学者 体験学習会



主催：山形大学理学部  
後援：山形市教育委員会

申込締切

平成22年

7月14日(水)

必着

申込方法

裏面の「参加申込書」等  
によりお申し込みください。

小さな科学者・体験学習会は、演示実験や簡単な体験型の  
実験を通して、子どもたちに科学のおもしろさ・楽しさに  
触れてもらおうと企画したものです。

夏休みに親子で楽しくサイエンスに触れてみませんか？

7/24  
(土)

山形県産業科学館「発明工房」  
光の不思議

参加費 無料

光の不思議な  
性質を体験して  
みませんか？  
簡単な工作も  
あります

時間 13:30～15:30

場所 山形県産業科学館4F発明工房  
(山形駅西口 霞城セントラルビル内)

対象 小学4年生～中学生 20名  
およびその保護者

7/24  
(土)

望遠鏡を  
作って観る

参加費 2500円 (望遠鏡材料費として)

ガリレオのように  
望遠鏡を作って  
みよう！  
月面クレーター  
にびっくり!

時間 18:30～20:30

場所 山形大学SCITAセンター  
(山形大学小白川キャンパス 理学部内)

対象 小学4年生～中学生 20名  
およびその保護者

8/1  
(日)

親子で体験！  
バイオロジー・8

～「知ってるようで知らない」  
身近な生き物の観察・撮影会～

参加費 無料

身近な環境で  
よく見る生き物を  
題材にした  
実験講座です

時間 13:00～16:00

場所 山形大学SCITAセンター  
(山形大学小白川キャンパス 理学部内)

対象 小学5年生～中学生 20名  
およびその保護者

8/3  
(火)

わくわく化学  
実験ランド

参加費 無料

振ると色が  
変わる不思議な  
ボトルなど  
すごい化学反応  
を体験しよう!

時間 14:00～16:00

場所 山形大学SCITAセンター  
(山形大学小白川キャンパス 理学部内)

対象 小学4年生以上とその保護者  
親子10組

# 小さな科学者体験学習会 参加申込書

この申込用紙に必要事項をご記入の上、ファックスでお申し込みください。  
FAX. 023-628-4506

平成 年 月 日

●希望する講座(○を付けてください。) ※複数の講座のお申し込みも可能です。

- 7/24(土) 光の不思議
- 7/24(土) 望遠鏡を作って観る
- 8/ 1(日) 親子で体験! バイオロジー・8
- 8/ 3(火) わくわく化学実験ランド

●おなまえ(ふりがな)

●年齢

男性 女性

歳

●ご住所 〒

●TEL

●FAX

●メールアドレス

●学校名

●学年

●同伴する保護者のお名前(ふりがな)

学年

※参加申込み時にいただきました個人情報は、本件に関する準備・連絡以外には使用いたしません。

●ファックスをお持ちでない場合は、ハガキまたはメールに参加申込書と同じ項目をご記入の上、下記申込先までお送りください。

⑤ 申込締切：平成22年7月14日(水)必着

⑤ 参加者の決定方法：お申し込みが多数の場合は、抽選になります。

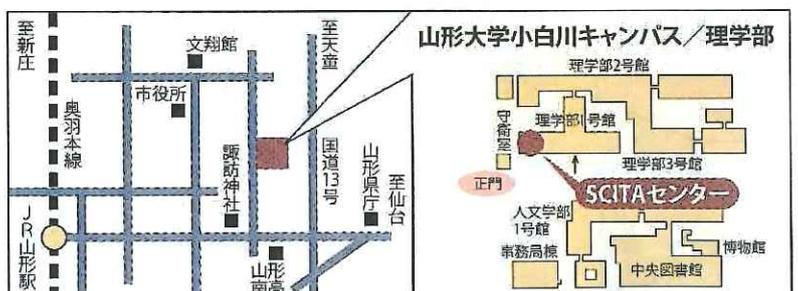
残念ながら定員を上回ったため参加いただけない場合は、別途その旨をお知らせいたします。

<お申し込み先>

サイト

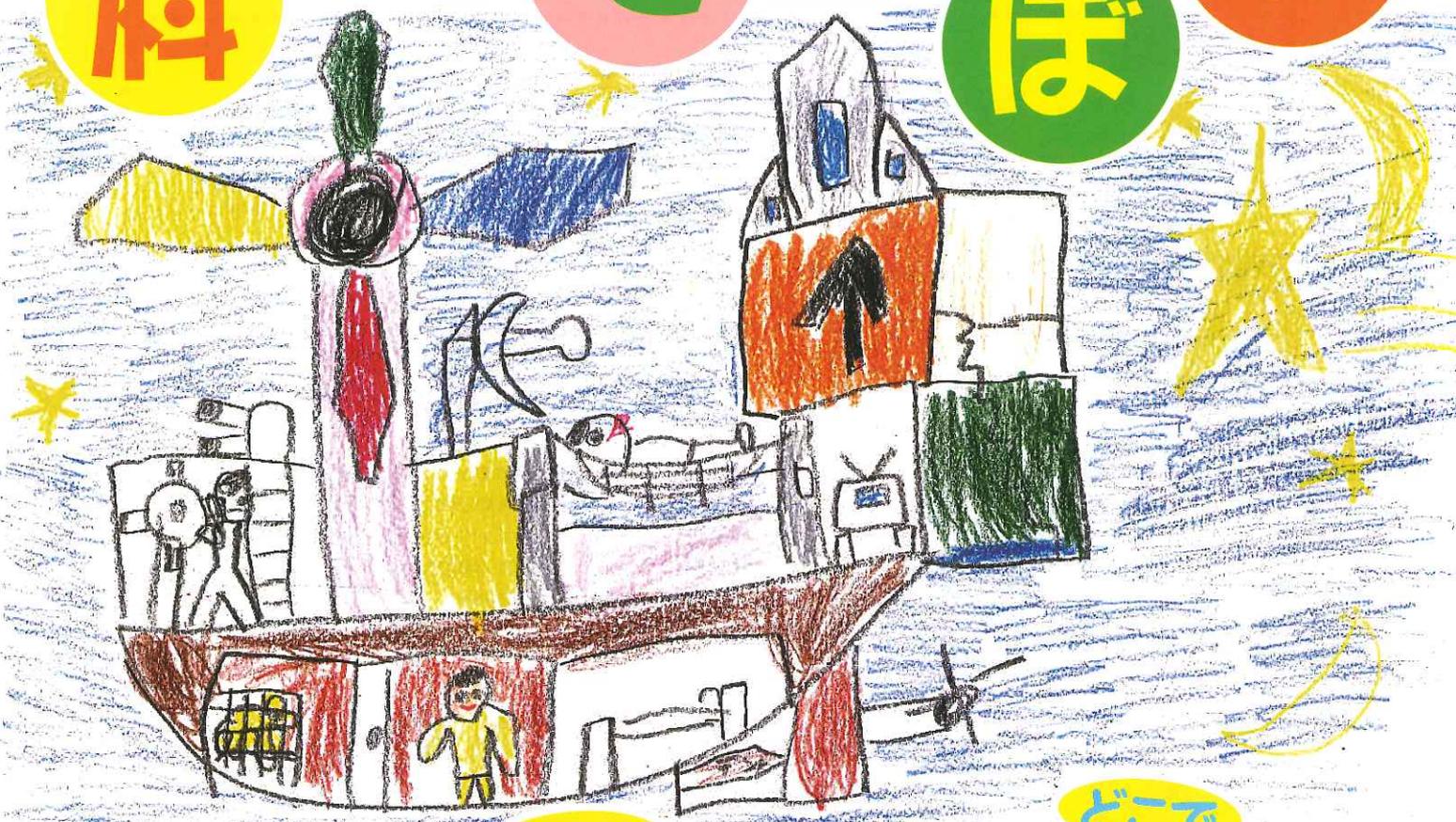
山形大学SCITAセンター

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12  
TEL/FAX 023-628-4506  
E-Mail scita@sci.kj.yamagata-u.ac.jp



# 科学フェスティバル in よねざわ 2010

か 科 学 遊 ぼ う



いつ  
2010.7.31(土)・8.1(日)  
10:00~16:00

どこで  
山形大学工学部

絵：窪田小学校3年 落合 優真さん

主催：科学フェスティバル実行委員会 共催：山形大学工学部  
後援：山形県教育委員会 米沢市教育委員会 南陽市教育委員会 高島町教育委員会 川西町教育委員会 長井市教育委員会  
小国町教育委員会 白鷹町教育委員会 飯豊町教育委員会 朝日新聞社 毎日新聞社 読売新聞社 産経新聞社  
河北新報社 山形新聞・山形放送 米澤新聞社 日刊工業新聞社 NHK山形放送局 山形テレビ テレビユー山形  
さくらぼテレビ (株)ニューメディア  
協賛：学園都市推進協議会 (社)米沢工業会 山形大学工学部後援会 山形銀行 荘内銀行 米沢信用金庫 きらやか銀行  
三菱電機ビルテクノサービス(株) (株)日立ハイテクノロジーズ 日立電線(株) 東北電力(株)米沢営業所 (順不同)  
問い合わせ先：科学フェスティバル実行委員会(山形大学工学部) E-mail：sf2008@jm.kj.yamagata-u.ac.jp  
〒992-8510 米沢市城南四丁目 3-16 TEL: 0238-26-3272 FAX: 0238-26-3401  
科学フェスティバルのホームページ <http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/ScienceFestival>

# 科学フェスティバル inよねざわ 2010



7月31日(土)・8月1日(日)  
10:00~16:00 (9:30受付開始)



山形大学工学部  
米沢市城南四丁目3番16号

次の世代を担う地域の子供たちに、科学の不思議や科学技術の魅力に触れてもらい、それらの面白さを感じてもらうために「科学フェスティバル」を開催します。ご家族の皆様と一緒に楽しみ下さい。

○事前の申込みは必要ありません。

○駐車場はキャンパス内に100台と大学運動場(南米沢駅の南側)に200台あります。お近くの方は、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。

○昼食は大学内の食堂を利用できます。

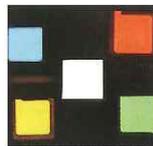
○詳しくは科学フェスティバルのホームページ<http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/ScienceFestival/>をご覧ください。

## イベント



### ★みんなで学ぼう!!『燃料電池自動車』

地球にやさしい自動車・燃料電池自動車はガソリンを使って走るのではなく、電気を使って走ります。一緒に自動車を走らせて学びましょう!



### ★ピカピカ光る有機ELの世界

私たちの体や食べ物と同じ「有機分子」に、電気を流すことでピカピカ光る!米沢が誇る世界的技術、有機ELを紹介しします。その感動的な美しさを、あなたの目で確かめてください。



### ★ジェリーキャンドルを作ろう!

白いツブツブの不思議なろうソクの素を使って、ぷにぷにプルプルのゼリーみたいなジェリーキャンドルをつくってみましょう!ふつうのろうソクと何が違うのかな?



### ★次世代ロボットデザインセンターのロボット

2足歩行ロボットや小型ヒューマノイドロボットなど。次世代ロボットデザインセンターで研究・開発しているロボットを展示します。

他にも楽しいイベントがたくさん!

